

## 労働局長による「働き方改革」企業トップへの働きかけ

# 三幸機械 株式会社

群馬労働局では、局長を本部長とする「働き方改革推進本部」を設置し、女性や高齢者が働きやすく、また意欲と能力のある者が活躍しやすい職場環境を作り、労働生産性を上げて成長を持続させるため、長時間労働の削減などの「働き方改革」を推進しています。

平成 29 年 9 月 21 日、「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として経済産業省等から「健康経営優良法人 2017」（中小規模法人部門）に認定された三幸機械株式会社を訪問し、石井健介社長より健康管理や労働時間の削減など職場環境の向上等に関するお話を伺うとともに、「働き方改革」へのさらなる取り組みをお願いしました。



### 【会社概要】

本 社	群馬県高崎市下滝町 433-22
会社設立	昭和 49 年 5 月
代 表 者	代表取締役社長 石井 健介
労働者数	83名（平成 29 年 9 月 21 日現在）
事業内容	機械加工・金属熱処理

---

## 事業の概要と特徴

---

当社は、マシニングセンター、旋盤等の大型の加工装置を有し、宇宙ロケットの部品やトンネル用ブロック（セグメント）部品など、大型で精密さと耐久性が要求されるというニッチな技術分野に強みを持つ機械加工・金属熱処理業です。

---

## 健康経営と職場環境の向上に向けた取組

---

当社の製品は一点ものが多く、一人ひとりの経験と技術が非常に重要となるため、社員には健康で長く勤務してもらいたいと考えています。

そのためには、健康診断の受診はもちろん、食生活や運動など日々の健康管理が重要であると考え、特に、若手社員を中心に健康管理の重要性について周知・啓発しています。

また、細かな事ですが、社内食堂で使用する調味料を減塩タイプにするなど食生活の改善に向けた取組や、ボウリング大会等のレクリエーションについて参加者は出勤扱いで実施するなど、コミュニケーションの促進に向けた取組にも力を入れています。社員が健康になると共に社内のコミュニケーションが図られることで、生産性の向上にもつながると考えます。

---

## ノー残業デーの実施と有給休暇の取得促進

---

当社は、毎週水曜日を「ノー残業デー」に設定しています。納期等の都合もあるため完全実施とはいきませんが、「ノー残業デー」については高い割合で定時で退社しています。

また、祝日は基本的に勤務日となっていますが、祝日も「ノー残業デー」としています。

平成28年度の有給休暇の取得率は67.6%ですが、部内でのコミュニケーションを良くして、お客様へ迷惑をかけずに有休を取得できるように、そして会社にとって貴重な財産である社員の健康を維持し仕事と家庭生活の充実を目指して、会社として取り組んでいきたいと考えています。



---

## 女性の活躍促進について

---

女性社員の割合は、加工部門が 69 名中 6 名、事務部門が 14 名中 4 名と多くはありません。業種的に女性から敬遠される傾向にあるのかもしれませんが、実は女性ならではの手先の器用さや根気強さが生かせる作業も多いため、積極的に女性を採用したいと考えています。

また、人手不足が深刻になっている今日、せっかく育った貴重な人材が出産・育児で離職することが無いよう、育児休業の取得及び復職について積極的に呼び掛けるとともに、さらに女性の働きやすい環境整備に励みたいと考えます。

---

## 生産性の向上について

---

当社は、熱処理・研磨・溶接作業までを一貫生産することでコストを削減し、安価で製品提供できることが強みです。

また、幅広い需要に応じられるよう先代から機械装置等を積極的に導入してきましたが、平成 28 年 12 月には、需要増が見込まれるロケット部品の生産体制を強化するため、当社の設備の中でも最大となるターニングセンターを導入しました。その結果、従来手作業で行っていた計測作業が自動化され、品質の確保や生産性の向上につながりました。

---

## 労働局から

---

厚生労働省では「働き方改革」の一環として、10 月を「年次有給休暇取得促進期間」とし、ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた年次有給休暇の取得を促進しています。

年次有給休暇は、労働者が心身のリフレッシュや自己啓発などを図れるように、有給で休暇を取ることを認めた制度です。それは最終的に労働者のモチベーション向上や生産性の向上に繋がり、会社の業績を上げる原動力になると考えられますので、年次有給休暇の取得促進等「働き方改革」の取組の更なる推進にご協力いただきますようお願いいたします。



半田労働局長

石井社長